

令和3年中の火災・救急・救助概要について(概数)

火災概要

令和3年の総出火件数は9件で、前年と比べ1件減少しました。
 火災種別でみると、建物火災が8件で車両火災が1件でした。
 建物火災のうち住宅(専用住宅、共同住宅、併用住宅)は7件で、前年と比べ1件増加しました。
 損害額については52,384千円で、前年より19,206千円増加しています。
 火元建物の焼損程度は、全焼3件、部分焼1件、ぼや4件でした。
 また、火災による死者は無し、負傷者は2名発生しました。
 出火原因別にみると、「放火・放火の疑い」2件「たばこ」2件が主な原因となっています。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
火災件数	合計		9	10	▲ 1
	建物火災		8(住宅7)	7(住宅6)	1
	林野火災				
	車両火災		1	3	▲ 2
	船舶火災				
	航空機火災				
	その他火災				
焼損棟数			13	12	1
り災世帯数			8	9	▲ 1
面焼積損	建物床面積 (㎡)		1,001	750	251
	建物表面積 (㎡)			57	▲ 57
	林野 (a)				
損害額(千円)別	合計		52,384	33,178	19,206
	建物		52,354	30,330	22,024
	車両		30	2,848	▲ 2,818
	航空機				
	その他				
死者数				1	▲ 1
負傷者数			2	5	▲ 3
火災発生間隔日数(日)			40.6	36.6	4.0
焼火損元程度建物	全焼		3	3	
	半焼				
	部分焼		1	2	▲ 1
	ぼや		4	2	2
爆発					
火災原因	放火・放火の疑い		2		2
	ストーブ			3	▲ 3
	たばこ		2	2	
	電灯電話等の配線			2	▲ 2
	上記以外		5	3	2
住宅用火災警報器設置件数()は住宅火災件数			3(7)	4(6)	

救急概要

令和3年の救急出動件数は4,161件となり、前年に比べ434件増加し過去最多の出動件数となりました。

1日あたりの平均件数は11件で、10年前に比べ約25%の増加となっています。

全体の搬送人員のうち、約67%が高齢者でした。

搬送人員は3,915人で、小松市民の約27人に1人が搬送されたこととなります。

搬送した傷病者のうち約42%は軽症でした。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
救急出動件数	合計		4,161	3,727	434
	急病		2,549	2,318	231
	交通事故		237	278	▲ 41
	一般負傷		691	586	105
	転院搬送		545	423	122
	上記以外		139	122	17
救急搬送人員	合計		3,915	3,509	406
	急病		2,412	2,173	239
	交通事故		218	251	▲ 33
	一般負傷		650	573	77
	転院搬送		545	423	122
	上記以外		90	89	1
搬送者年齢別	高齢者		2,625	2,373	252
	成人		999	895	104
	少年		118	127	▲ 9
	乳幼児		167	112	55
	新生児		6	2	4
搬送程度別	死亡		108	111	▲ 3
	重症		518	475	43
	中等症		1,644	1,452	192
	軽症		1,645	1,471	174
	その他				

救助概要

令和3年の救助出動件数は54件で、前年に比べ18件増加しています。

出動件数のうち、救助活動件数は30件、救助人員は35人となりました。

内訳として、交通事故による出動が28件で最多となり、全体の半数以上となりました。

区分		年	令和3年	令和2年	増減
出動件数			54	36	18
活動件数			30	26	4
救助人員			35	28	7